



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トクヤマ

コード番号 4043 URL <http://www.tokuyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 幸後 和壽

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 松本 良文

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日

TEL 03-6205-4832

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	135,034	7.2	7,811	885.3	6,094	—	4,518	—
25年3月期第2四半期	125,985	△11.2	792	△90.3	△1,980	—	△2,539	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 6,361百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △4,672百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.99	—
25年3月期第2四半期	△7.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	528,000	229,303	42.2	640.20
25年3月期	518,251	223,871	42.0	625.29

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 222,734百万円 25年3月期 217,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	3.00	3.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	275,500	6.5	14,000	106.7	10,000	209.4	7,500	—	21.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	349,671,876 株	25年3月期	349,671,876 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	1,758,706 株	25年3月期	1,742,749 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	347,919,018 株	25年3月期2Q	347,942,170 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中でありま。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
(4) 追加情報	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常損益	四半期純損益
平成26年3月期 第2四半期連結累計期間	1,350	78	60	45
平成25年3月期 第2四半期連結累計期間	1,259	7	△19	△25
増減率	7.2%	885.3%	－%	－%

(売上高)

多結晶シリコンの販売数量の減少等はありませんでしたが、塩化ビニルモノマーのプラントトラブルの影響が解消されたことによる販売数量の増加及び石油化学製品の販売価格の是正等により、前年同期より90億48百万円増加し、1,350億34百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

(売上原価)

多結晶シリコンの販売数量の減少及び全社を挙げての徹底した費用削減等はありませんでしたが、国産ナフサ価格の上昇等により、前年同期より33億91百万円増加し、982億84百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

(販売費及び一般管理費)

多結晶シリコンの販売数量の減少に伴う物流費の減少及び全社を挙げての徹底した費用削減等により、前年同期より13億62百万円減少し、289億38百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

(営業利益)

全社を挙げての徹底した費用削減等により、前年同期より70億18百万円増加し、78億11百万円（前年同期比885.3%増）となりました。

(営業外損益・経常損益)

営業外損益は、前年同期に計上した為替差損が為替差益に転じたこと等により、前年同期より10億56百万円改善しました。そのため、経常損益は、80億75百万円改善し、60億94百万円の利益となりました。

(特別損益・税金等調整前四半期純損益・少数株主損益調整前四半期純損益・四半期純損益)

特別損益は、前年同期に計上した株式会社エクセルシャノンの事業再構築引当金繰入が当期は発生しなかったこと等により、前年同期より7億93百万円改善しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純損益は、前年同期より88億68百万円改善し、57億22百万円の純利益となりました。

応分の税金費用を加味した少数株主損益調整前四半期純損益は、前年同期より68億31百万円改善し、45億17百万円の純利益となりました。少数株主損益調整後の四半期純損益は、前年同期より70億57百万円改善し、45億18百万円の純利益となりました。

(セグメント別の状況)

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニティー				
平成26年3月期 第2四半期 連結累計期間	41,593	23,415	36,444	27,174	23,255	151,884	△16,850	135,034
平成25年3月期 第2四半期 連結累計期間	38,522	25,325	34,132	24,526	19,778	142,285	△16,299	125,985
増減率	8.0%	△7.5%	6.8%	10.8%	17.6%	6.7%	—	7.2%

営業利益又は営業損失(△)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニティー				
平成26年3月期 第2四半期 連結累計期間	787	1,596	2,780	2,063	2,124	9,352	△1,541	7,811
平成25年3月期 第2四半期 連結累計期間	54	△962	2,250	1,210	1,269	3,822	△3,029	792
増減率	—%	—%	23.6%	70.5%	67.4%	144.7%	—	885.3%

(注) 1 上記の売上高、営業利益又は営業損失(△)にはセグメント間取引を含めております。

2 当第1四半期連結会計期間より、従来の「機能部材」セグメントを「ライフアメニティー」セグメントに名称を変更しておりますが、名称変更のみであり、当該報告セグメントの事業内容に変更はありません。

また、業績管理をより適切に行うため、従来は調整額に含めていた費用のうち、各セグメントへの関連が明確な費用については、各セグメントに直接負担させる方法に変更を行っております。

なお、平成25年3月期第2四半期連結累計期間においても、変更後の基準に基づき作成しております。

(化成品セグメント)

塩化ビニルモノマーは、前年同期に発生したプラントトラブルの影響が解消したことに加え、円安により輸出価格が上昇し、増収となりました。

苛性ソーダは、上記のトラブルの影響が解消され電解プラントの稼働率が改善し、国内向け販売数量が回復しました。

塩化ビニル樹脂は、国産ナフサ価格の上昇に対応するため、販売価格の是正に取り組みました。

以上の結果、当セグメントの売上高は415億93百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は7億87百万円で増収増益となりました。

(特殊品セグメント)

多結晶シリコンは、半導体向けについては市場が回復基調にあるものの、サプライチェーンにおける在庫調整等により、販売数量が減少しました。また、太陽電池向けについても供給過剰による市況低迷が続く中、利益重視の販売戦略を取り、販売数量が低調に推移しました。

乾式シリカは、原燃料価格の上昇及び物流コスト等の負担増に対応するため、販売価格を是正しました。

窒化アルミニウム及び電子工業用高純度薬品は、半導体市場の回復に伴い、増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は234億15百万円(前年同期比7.5%減)、営業利益は15億96百万円となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、国内向けは需要の回復に伴い販売は堅調に推移し、海外向けは円安による輸出価格の上昇により、増収となりました。

資源環境事業は、セメント生産量増加に伴い廃棄物受入量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は364億44百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は27億80百万円（前年同期比23.6%増）で増収増益となりました。

(ライフアメニティーセグメント)

プラスチックレンズ関連材料は、平成23年に発生したタイ洪水によるサプライチェーンへのダメージからの回復により、販売数量が増加しました。

ポリオレフィンフィルムは、原料価格上昇に対応するため販売価格を是正し、拡販に努めた結果、増収となりました。

樹脂サッシは、事業再構築を推し進め、住宅着工件数の回復を背景に拡販に努めた結果、販売数量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は271億74百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は20億63百万円（前年同期比70.5%増）で増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,280億円となり、前連結会計年度末に比べ97億49百万円増加しました。

主な要因は、マレーシアでの多結晶シリコン製造設備建設等による有形固定資産の増加によるものです。一方、建設資金支払への充当目的で保有していた預金は減少しました。

負債は2,986億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億16百万円増加しました。

主な要因は、マレーシアでの建設資金支払のために締結した中期コミットメントライン契約に基づく短期借入金調達によるものです。

純資産は2,293億3百万円となり、利益剰余金の増加と円安による為替換算調整勘定の改善により前連結会計年度末に比べ54億32百万円増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は307億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ217億21百万円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは110億28百万円の収入（前年同期比59億61百万円の増加）となりました。主な内容は、税金等調整前純利益57億22百万円、減価償却費81億19百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは549億36百万円の支出（前年同期比257億49百万円の増加）となりました。主な内容は、マレーシアでの多結晶シリコン製造設備建設等による有形固定資産の取得による支出166億69百万円及び建設資金支払への充当目的で設定している金銭信託への支出343億円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは211億49百万円の収入（前年同期比182億23百万円の減少）となりました。主な内容は、短期借入金の純増212億73百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、収益改善計画に基づき費用削減を継続してまいります。今後の事業環境が不透明な部分もあり、平成25年4月30日に公表した業績予想を据え置きます。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益（損失）に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,897	22,997
受取手形及び売掛金	65,371	61,867
有価証券	8,310	8,556
商品及び製品	20,275	19,022
仕掛品	13,277	11,328
原材料及び貯蔵品	17,110	18,827
繰延税金資産	547	556
その他	16,528	14,700
貸倒引当金	△205	△163
流動資産合計	186,114	157,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	100,129	102,076
減価償却累計額	△68,452	△70,454
建物及び構築物(純額)	31,676	31,622
機械装置及び運搬具	451,758	458,728
減価償却累計額	△401,103	△406,839
機械装置及び運搬具(純額)	50,655	51,888
工具、器具及び備品	23,044	23,270
減価償却累計額	△21,086	△21,430
工具、器具及び備品(純額)	1,958	1,840
土地	32,895	32,859
リース資産	1,482	1,457
減価償却累計額	△685	△763
リース資産(純額)	796	694
建設仮勘定	156,388	189,382
有形固定資産合計	274,370	308,287
無形固定資産		
のれん	175	3,544
リース資産	22	18
その他	7,757	7,243
無形固定資産合計	7,955	10,806
投資その他の資産		
投資有価証券	31,476	33,570
長期貸付金	4,017	3,580
繰延税金資産	965	981
その他	13,710	13,366
投資損失引当金	△21	△21
貸倒引当金	△337	△264
投資その他の資産合計	49,811	51,212
固定資産合計	332,137	370,306
資産合計	518,251	528,000

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,152	36,039
短期借入金	8,912	30,654
コマーシャル・ペーパー	4,000	4,000
1年内返済予定の長期借入金	22,144	21,899
リース債務	338	327
未払法人税等	948	1,269
繰延税金負債	1,377	515
賞与引当金	1,949	1,999
修繕引当金	1,755	1,641
製品保証引当金	94	46
事業再構築引当金	29	16
その他	35,923	20,333
流動負債合計	115,626	118,740
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	101,796	104,350
リース債務	514	406
繰延税金負債	5,993	6,659
退職給付引当金	969	1,002
役員退職慰労引当金	214	180
修繕引当金	2,687	2,665
製品補償損失引当金	1,276	1,017
環境対策引当金	156	158
事業再構築引当金	—	3
資産除去債務	5	5
その他	15,138	13,506
固定負債合計	178,753	179,956
負債合計	294,380	298,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,458	53,458
資本剰余金	57,670	57,670
利益剰余金	99,058	102,506
自己株式	△1,414	△1,419
株主資本合計	208,773	212,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,566	8,868
繰延ヘッジ損益	2,238	806
為替換算調整勘定	△1,023	843
その他の包括利益累計額合計	8,781	10,518
少数株主持分	6,316	6,569
純資産合計	223,871	229,303
負債純資産合計	518,251	528,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	125,985	135,034
売上原価	94,892	98,284
売上総利益	31,093	36,749
販売費及び一般管理費		
販売費	17,035	16,863
一般管理費	13,264	12,074
販売費及び一般管理費合計	30,300	28,938
営業利益	792	7,811
営業外収益		
受取利息	37	25
受取配当金	279	312
持分法による投資利益	252	269
為替差益	—	351
団体定期保険配当金	200	181
その他	636	546
営業外収益合計	1,406	1,684
営業外費用		
支払利息	1,100	1,288
休止部門費	867	1,386
為替差損	1,035	—
その他	1,176	726
営業外費用合計	4,180	3,401
経常利益又は経常損失(△)	△1,980	6,094
特別利益		
固定資産売却益	285	185
投資有価証券売却益	156	379
特別利益合計	441	564
特別損失		
固定資産売却損	481	37
減損損失	—	220
固定資産処分損	236	215
投資有価証券売却損	20	—
関係会社株式売却損	—	78
製品補償関連費用	—	335
事業再構築引当金繰入額	818	—
事業再構築費用	10	—
その他	40	49
特別損失合計	1,607	936
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,146	5,722
法人税等	△832	1,204
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,313	4,517
少数株主利益又は少数株主損失(△)	225	△0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,539	4,518

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△2,313	4,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,573	1,313
繰延ヘッジ損益	△1,024	△1,431
為替換算調整勘定	210	1,826
持分法適用会社に対する持分相当額	29	134
その他の包括利益合計	△2,358	1,843
四半期包括利益	△4,672	6,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,907	6,255
少数株主に係る四半期包括利益	235	106

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,146	5,722
減価償却費	11,357	8,119
製品補償損失引当金の増減額(△は減少)	△763	△258
その他の引当金の増減額(△は減少)	△372	△213
受取利息及び受取配当金	△317	△337
為替差損益(△は益)	537	84
有形固定資産売却損益(△は益)	195	△147
投資有価証券売却損益(△は益)	△135	△379
関係会社株式売却損益(△は益)	—	78
持分法による投資損益(△は益)	△252	△269
支払利息	1,100	1,288
減損損失	—	220
固定資産処分損益(△は益)	236	215
売上債権の増減額(△は増加)	8,487	4,497
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,902	2,007
その他の流動資産の増減額(△は増加)	119	△1,259
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,876	△2,817
その他の流動負債の増減額(△は減少)	452	△2,234
その他	△2,572	△1,557
小計	5,149	12,759
利息及び配当金の受取額	639	709
利息の支払額	△1,062	△1,296
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	341	△1,144
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,066	11,028
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△23	△19
定期預金の払戻による収入	505	19
有形固定資産の取得による支出	△13,732	△16,669
有形固定資産の売却による収入	1,143	367
投資有価証券の取得による支出	△192	△703
投資有価証券の売却による収入	350	808
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△4,115
長期貸付けによる支出	△6	△8
長期貸付金の回収による収入	187	131
金銭の信託の取得による支出	△15,016	△34,300
金銭の信託の解約による収入	16	—
その他	△2,419	△445
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,187	△54,936

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△318	21,273
長期借入れによる収入	48,130	5,300
長期借入金の返済による支出	△6,981	△3,885
配当金の支払額	△1,042	△1,039
少数株主への配当金の支払額	△238	△310
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△5
その他	△173	△183
財務活動によるキャッシュ・フロー	39,373	21,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	622
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,220	△22,135
現金及び現金同等物の期首残高	58,476	52,431
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	414
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,696	30,710

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティー				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	38,079	21,089	34,072	23,405	9,339	125,985	—	125,985
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	443	4,235	59	1,121	10,438	16,299	(16,299)	—
計	38,522	25,325	34,132	24,526	19,778	142,285	(16,299)	125,985
セグメント利益又は 損失(△)	54	△962	2,250	1,210	1,269	3,822	(3,029)	792

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニ ティー				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	41,074	18,482	36,371	26,410	12,696	135,034	—	135,034
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	519	4,933	73	764	10,559	16,850	(16,850)	—
計	41,593	23,415	36,444	27,174	23,255	151,884	(16,850)	135,034
セグメント利益	787	1,596	2,780	2,063	2,124	9,352	(1,541)	7,811

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の「機能部材」セグメントを「ライフアメニティー」セグメントに名称を変更しておりますが、名称変更のみであり、当該報告セグメントの事業内容に変更はありません。

また、業績管理をより適切に行うため、従来は調整額に含めていた費用のうち、各セグメントへの関連が明確な費用については、各セグメントに直接負担させる方法に変更を行っております。

なお、変更後の基準により作成した前第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、「前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントにおいて記載すべき重要な事項はありません。なお、報告セグメントに配分されていない減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては220百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「セメント」セグメントにおいて、Holcim (Nouvelle Calédonie) S.A. (平成25年6月28日付でTokuyama Nouvelle Calédonie S.A.に社名変更)の株式を取得し子会社化しました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において3,356百万円であります。

(重要な負ののれんの発生益)

記載すべき重要な事項はありません。